

## 第2回定例研究会

### 間（ま）の謎を解く - 間抜けは本当に間抜けなのか？

第2回定例研究会は、本学生活環境学部情報メディア学科教授であり、当研究所の研究員でもある丸山健夫教授を講師に、「間（ま）の謎を解く - 間抜けは本当に間抜けなのか？」というテーマで開催いたしました。

#### 【講師プロフィール】

京都大学農学部卒業。京都大学博士（農学）。

米国ルイジアナ州立大学客員准教授、武庫川女子大学文学部教授などを経て現職。情報学専攻。生活のまわりの謎を、情報や統計といった視点から解明している。

著書に『謎山トキオの謎解き分析 - 右と左の50の謎』（日科技連出版社）、『風が吹けば桶屋が儲かるのは0.8%!? - 身近なケースで学ぶ確率・統計』（PHP新書）、『ナイチンゲールは統計学者だった! - 統計の人物と歴史の物語』（日科技連出版社）『ペリーとヘボンと横浜開港 - 情報学から見た幕末』（臨川書店）、『ビギナーに役立つ統計学のワンポイントレッスン』（日科技連出版社）などがある。

#### 講師

丸山 健夫 氏（武庫川女子大学教授）

#### テーマ

「間（ま）の謎を解く」

#### 講演日

2011年6月25日（土） 14:00～17:00 受付開始 13:30～

#### 場所

武庫川女子大学 甲子園会館 K205